

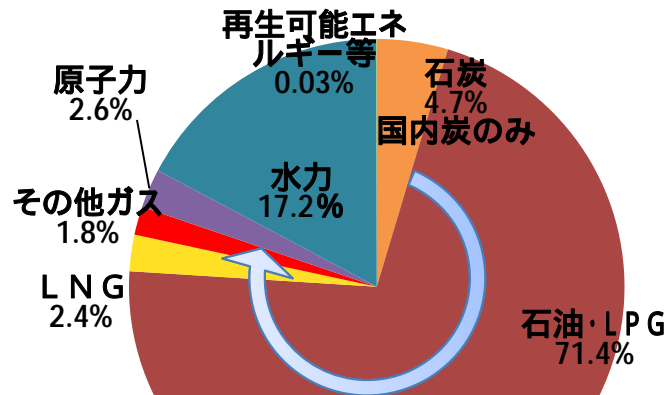
委員会におけるご指摘事項と回答

ご指摘	回答案
1. エネルギーの自給率及び中東依存度について	P2参照

エネルギーの自給率及び中東依存度について (エネルギー自給率)

発電用燃料を海外からの輸入に依存する電源構成の割合は、現在約88% (2013年度)で、第一次石油ショック時 (約76%) よりも高い。

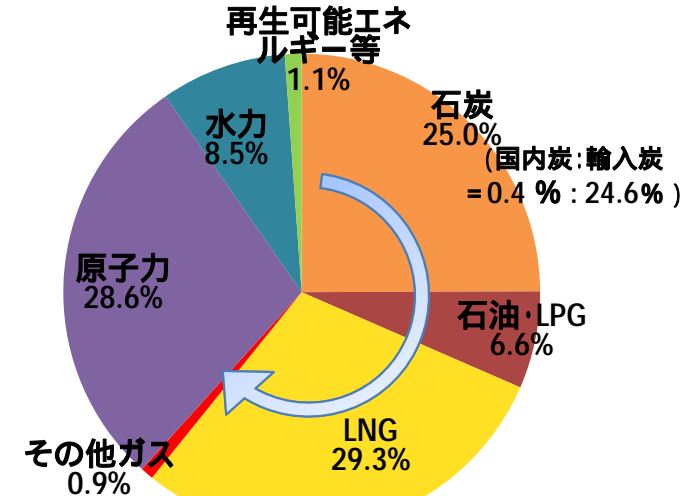
1973年度 (第一次石油ショック時)



発電用燃料を海外からの輸入に依存する電源構成の割合 **76%**

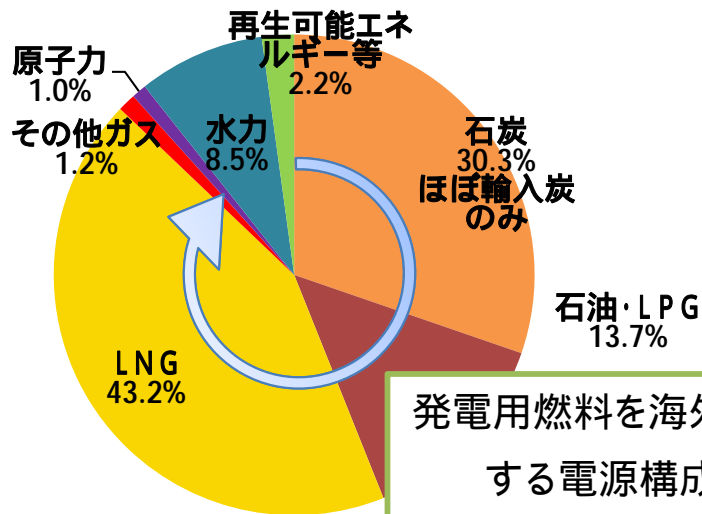
2010年度 (震災直前)

- 石炭
- 石油・LPG
- LNG
- その他ガス
- 原子力
- 水力
- 再生可能エネルギー等



発電用燃料を海外からの輸入に依存する電源構成の割合 **61%**

2013年度 (直近の確定値)

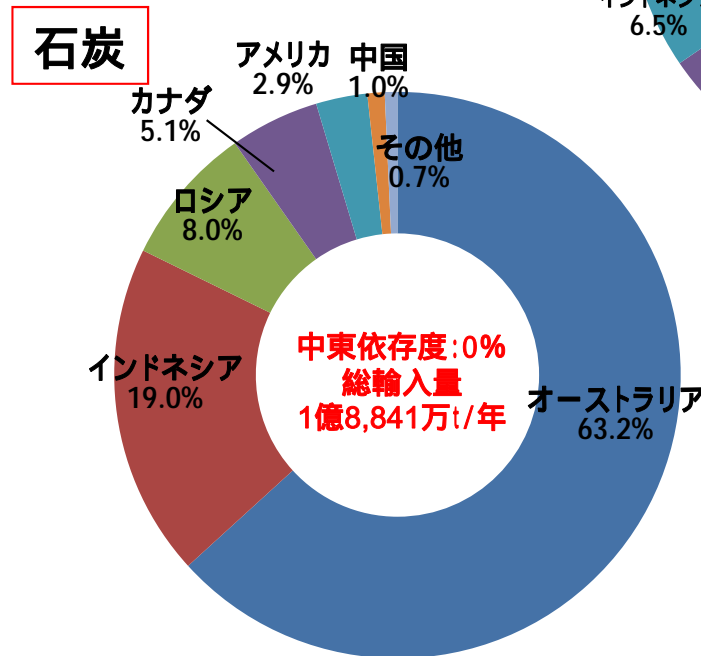
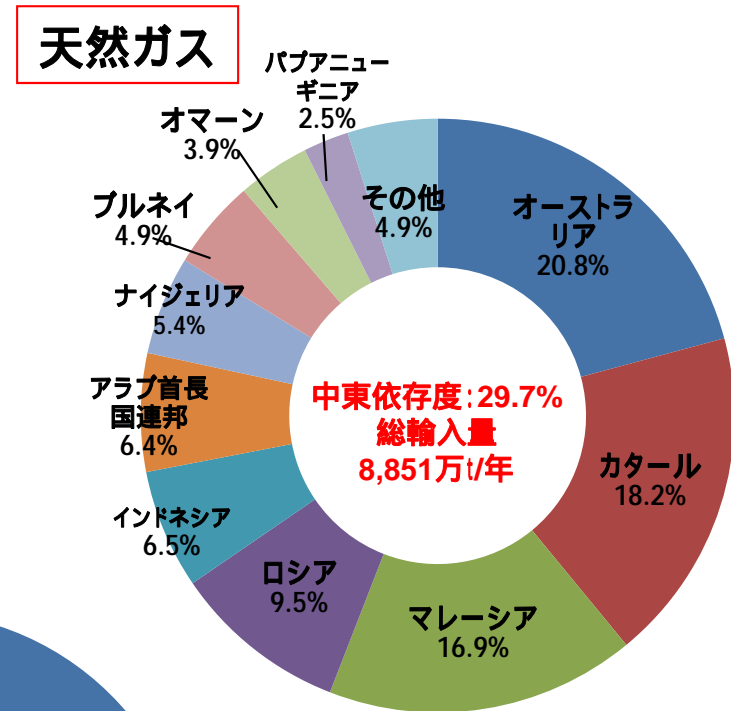
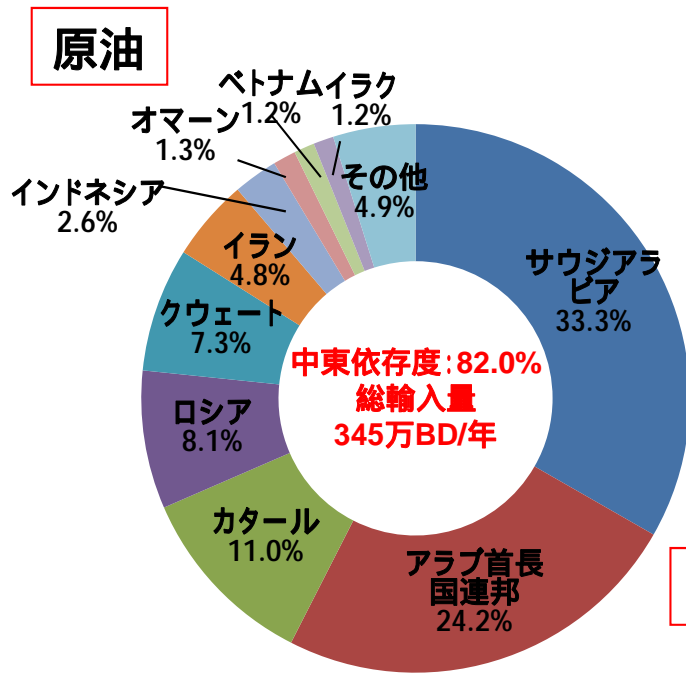


発電用燃料を海外からの輸入に依存する電源構成の割合 **88%**

「電源開発の概要」等より作成。発電電力量を用いて%を算出。「その他ガス」とは、一般電気事業者において、都市ガス、天然ガス、コークス炉ガスが混焼用として使用されているものが中心。なお、「その他ガス」は、本文中の「海外からの化石エネルギーに対する依存度」(約88%、約76%)の中に入れていない。

エネルギーの自給率及び中東依存度について(中東依存度)

■ 一次エネルギー供給における中東依存度は、原油、天然ガスの順に高く、石炭はゼロとなっている。



出典: 貿易統計(2014年1月~12月)

* 原油の備蓄考慮版は備蓄量の2分の1を自給としてカウント。(2年で備蓄を取り崩すケースで試算)